

# 「ボクシング：日本タイトル挑戦」のご紹介

校長 中村 成希

ボクシング日本ミニマム級1位のプロボクサー「仲島 辰郎（なかしま たつろう）」君の「日本ミニマム級タイトル戦」が6月7日に後楽園ホールで開催されました。残念ながら、5回TKO負けの結果でした。今後も引き続き応援の程よろしくをお願いします。【琉球新報社提供：令和3年6月8日朝刊記事】

## ペース握られ、焦り出る

**ボクシング日本タイトル戦**

プロボクシングの男女タイトル戦が7日、東京の後楽園ホールで行われ、日本ミニマム級タイトル戦で同級1位・仲島辰郎（平仲B）が、王者・谷口将隆（ワタナベ）に挑み、健闘はするも5回TKO負けを喫した。女子日本バンタム級王座空位戦では、同級3位の平安山裕子（平仲B）が同級1位の谷山佳季（ワタナベ）と戦い、偶然のハッディングによる負傷を受け、4回途中で判定負けとなった。

# 仲島5回TKO負け

## 平安山は判定で敗れる



**焦点**

**本領発揮できず悔い残す 仲島**

出だしは互いに見合う展開で、相手の巧みな連打を浴び、ササポの王者・谷口は、2回に偶然のハッディング（タナベ）との間合を測る目上の動きを、その傷が目立つ中、その傷を招かれて出血が目に入り、攻め込むチャンスをつかんだが、次第に王者のペースになっていく。シブを浴びる足が止まらなくなった。と、本来の攻めの姿勢が出せなくなっていた。結果的に出血が致命傷となり、5回にはレフェリーが試合を止めた。「谷口選手が技術面で一枚も一枚も上だった。自分の力も、一歩も及ばなかった。自分の力、めいり強い気持ちが必要と、後には焦ってしまったと後悔（普久原裕南都新聞通信）」

△ボクシング（7日・後楽園ホール）

▽日本ミニマム級タイトル戦

10回戦

谷口将隆（ワタナベ） TKO 仲島辰郎（平仲B）

47・5分 5回1分35秒 47・5分

▽日本バンタム級王座決定戦6回戦

平安山裕子（平仲B） 判定 谷山佳季（ワタナベ）

53・5分 4回1分53・1分

△ボクシング（7日・後楽園ホール）

▽日本ミニマム級10回戦

2回

出だしは互いに見合う展開で、ササポの王者・谷口は、2回に偶然のハッディング（タナベ）との間合を測る目上の動きを、その傷が目立つ中、その傷を招かれて出血が目に入り、攻め込むチャンスをつかんだが、次第に王者のペースになっていく。シブを浴びる足が止まらなくなった。と、本来の攻めの姿勢が出せなくなっていた。結果的に出血が致命傷となり、5回にはレフェリーが試合を止めた。「谷口選手が技術面で一枚も一枚も上だった。自分の力も、一歩も及ばなかった。自分の力、めいり強い気持ちが必要と、後には焦ってしまったと後悔（普久原裕南都新聞通信）」

**6.7 MON**

**KORAKUENHALL**

**JAPAN**

**MINIMUMWEIGHT CHAMPIONSHIP 10R**

**MASATAKA TANIGUCHI VS TATSURO NAKASHIMA**

**Dangan & Watanabe PROMOTION**

The Ring is a Battlefield. The Fan is a Bully.